

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2026.3.31時点)

分類	保管場所	保管容量 ^{※1}	保管量 ^{※1}	前回集約からの増減 ^{※1}	エリア占有率	保管量 / 保管容量 ^{※1} 割合	トピックス	
瓦礫類	屋外集積 (0.1mSv/h以下)	A	13,800 m ³	6,300 m ³	0 m ³	45%	314,500 / 408,500 77%	<ul style="list-style-type: none"> 主な増減理由 屋外一時保管解消に向けた移動 (エリアC、エリアN) 屋外一時保管解消に向けた移動 (エリアF、エリアO、エリアP1) フランジタンク除染作業 (エリアAA) 1～4号機建屋周辺関連工事 (エリアe) エリア整理のための移動 (エリアBB、エリアDD) 屋外一時保管解消に向けた移動 (エリアG、エリアH) エリア整理のための移動 (エリアM)
		B	5,300 m ³	5,300 m ³	0 m ³	100%		
		C	67,000 m ³	54,800 m ³	-6,200 m ³	82%		
		D	2,700 m ³	2,600 m ³	0 m ³	97%		
		F	7,100 m ³	2,800 m ³	-200 m ³	39%		
		J	6,300 m ³	5,700 m ³	0 m ³	90%		
		N	9,700 m ³	7,500 m ³	-500 m ³	78%		
		O	44,100 m ³	41,800 m ³	-100 m ³	95%		
		P1	62,700 m ³	45,000 m ³	-300 m ³	72%		
		U	800 m ³	700 m ³	0 m ³	100%		
		V	6,000 m ³	5,600 m ³	0 m ³	93%		
		AA	58,000 m ³	39,600 m ³	+300 m ³	68%		
		BB	44,800 m ³	38,100 m ³	+400 m ³	85%		
		CC	18,800 m ³	18,700 m ³	0 m ³	99%		
		DD	10,800 m ³	3,300 m ³	微減 m ³	31%		
		FF1	12,400 m ³	0 m ³	0 m ³	0%		
		FF2	13,100 m ³	0 m ³	0 m ³	0%		
		d	1,900 m ³	1,600 m ³	0 m ³	85%		
		e	6,700 m ³	5,200 m ³	+500 m ³	78%		
		k	9,500 m ³	5,300 m ³	0 m ³	57%		
		l	7,200 m ³	3,500 m ³	0 m ³	49%		
		G ^{※3}	40,000 m ³	14,100 m ³	+500 m ³	35%		
		H ^{※3}	43,000 m ³	2,600 m ³	+1,500 m ³	6%		
M ^{※3}	45,000 m ³	4,200 m ³	微増 m ³	9%				
シート養生 (0.1～1mSv/h)	E1	16,000 m ³	2,100 m ³	-500 m ³	13%	23,500 / 55,300 43%	<ul style="list-style-type: none"> 主な増減理由 屋外一時保管解消に向けた移動 (エリアE1、P2) エリア整理のための移動 (エリアW、エリアX) 	
	P2	6,700 m ³	1,300 m ³	-300 m ³	20%			
	W	11,600 m ³	4,500 m ³	微増 m ³	39%			
	X	16,600 m ³	11,900 m ³	+100 m ³	71%			
覆土式一時保管施設、容器 (1～30mSv/h)	m	4,400 m ³	3,800 m ³	0 m ³	86%	12,300 / 17,200 72%		
	E2 ^{※2}	1,200 m ³	400 m ³	0 m ³	34%			
固体廃棄物貯蔵庫 ^{※2}	L	16,000 m ³	11,900 m ³	0 m ³	74%	62,800 / 133,500 47%	<ul style="list-style-type: none"> 主な増減理由 屋外一時保管解消に向けた移動 	
	合計	614,500 m ³	413,200 m ³	-3,700 m ³	67%			
伐採木	屋外集積 (幹・根・枝・葉)	G ^{※3}	40,000 m ³	0 m ³	0 m ³	0%	31,200 / 134,000 23%	<ul style="list-style-type: none"> 主な増減理由 エリア整理のための移動 (エリアH、エリアM) 敷地造成関連工事 (エリアV)
		H ^{※3}	43,000 m ³	0 m ³	-100 m ³	0%		
		M ^{※3}	45,000 m ³	29,100 m ³	+100 m ³	65%		
		V	6,000 m ³	2,100 m ³	+100 m ³	34%		
	一時保管槽 (枝・葉)	G	29,700 m ³	26,200 m ³	0 m ³	88%	37,300 / 41,600 90%	
T		11,900 m ³	11,100 m ³	0 m ³	94%			
合計		175,600 m ³	68,500 m ³	+200 m ³	39%			
使用済保護衣等 ^{※3}	屋外集積	25,300 m ³	12,700 m ³	+1,100 m ³	50%		<ul style="list-style-type: none"> 主な増減理由 構内作業 	
放射性固体廃棄物 (焼却灰等) ^{※4}	固体廃棄物貯蔵庫	63,700 m ³	38,600 m ³	微増 m ³	61%		<ul style="list-style-type: none"> 主な増減理由 焼却灰、プラスチック 	

※1 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。また、50m³未満の保管量を微量、50m³未満の増減を微増・微減と示している。

※2 水処理二次廃棄物 (小型フィルタ等) を含む。

※3 エリアAA、エリアk、エリアlは、使用済保護衣等の保管も行うが、主に瓦礫類を保管するため、使用済保護衣等の保管容量からは除いている。

エリアG、エリアH、エリアMは、瓦礫類及び使用済保護衣等の保管も行うが、主に伐採木を保管するため、瓦礫類の合計の保管容量と使用済保護衣等の保管容量からは除いている。

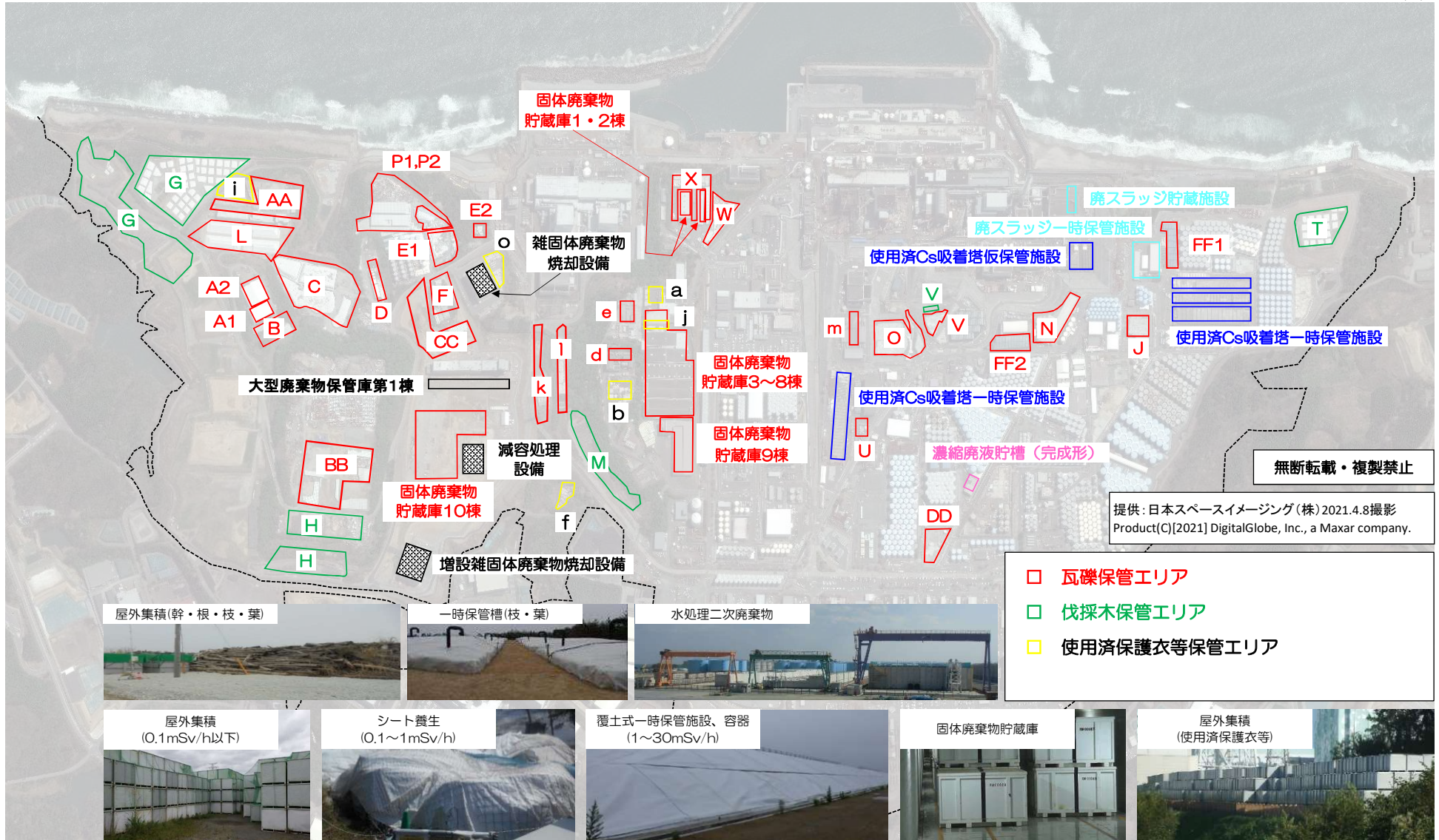
なお、上記エリアの合算した保管量が保管容量を超えていないことを確認している。

※4 ドラム缶1本を0.2m³、ボックスコンテナ1個を0.8m³として換算している。

水処理二次廃棄物の管理状況(2026.4.2時点)

分類	保管場所	種類	保管量	前回集約からの増減		保管量 / 保管容量 割合	トピックス
水処理二次廃棄物	使用済吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル	779 本	0 本		5,993 / 6,884 87%	
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル	265 本	0 本			
		第三セシウム吸着装置使用済ベッセル	29 本	+1 本			
		多核種除去設備等保管容器	4,564 基	+17 基			
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	90 本	0 本			
		多核種除去設備処理カラム	17 塔	0 塔			
	モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類	249 本	0 本				
廃スラッジ 貯蔵施設	廃スラッジ	516 m ³	0 m ³		516 / 700 74%		
濃縮廃液タンク	濃縮廃液	9,383 m ³	+1 m ³		9,383 / 10,300 91%	<ul style="list-style-type: none"> タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内(現場パトロール異常なし) 水位計0%以上の保管量： 9,283 m³ タンク底部～水位計の保管量(DS)： 約 100 m³ 	

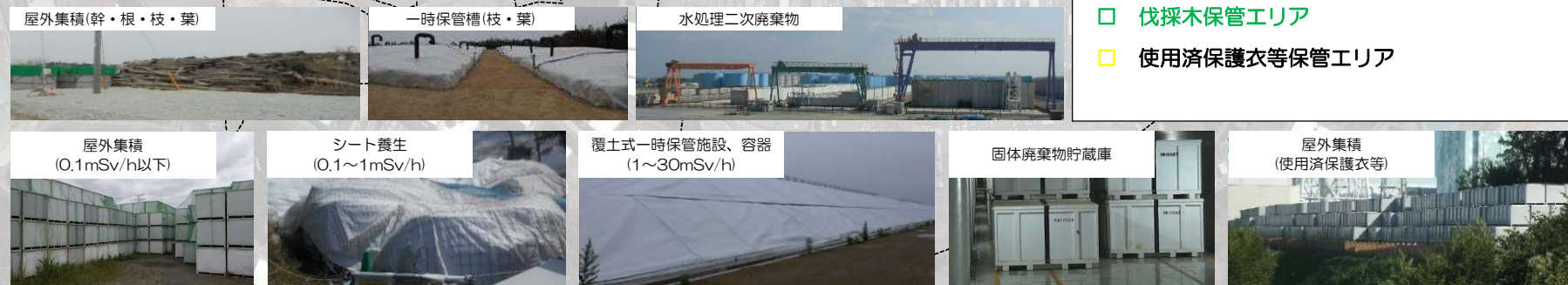
福島第一原子力発電所 固体廃棄物等保管エリアの構内配置図



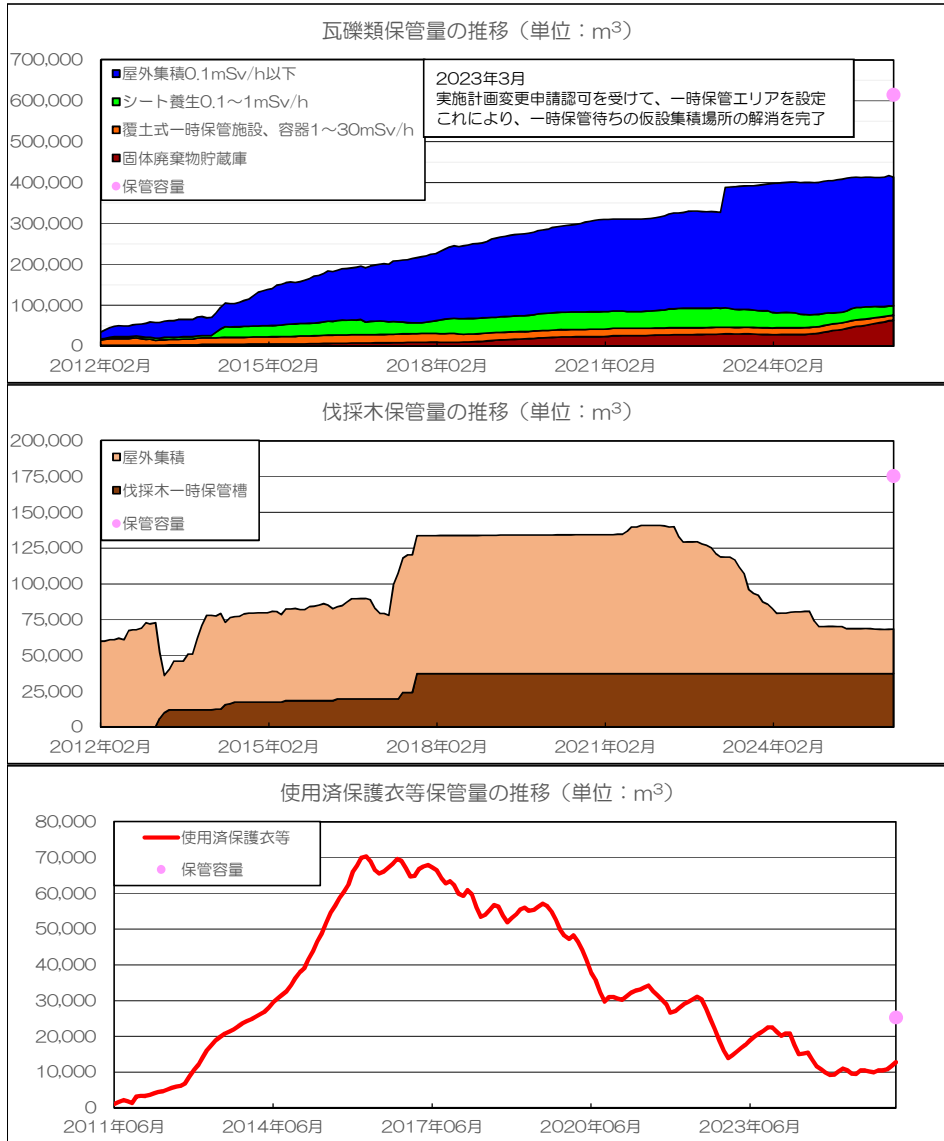
無断転載・複製禁止

提供：日本スペースイメージング(株) 2021.4.8撮影
Product(C)[2021] DigitalGlobe, Inc., a Maxar company.

- 瓦礫保管エリア
- 伐採木保管エリア
- 使用済保護衣等保管エリア



瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2026.3.31時点)



水処理二次廃棄物の管理状況(2026.4.2時点)

